

学校関係者評価委員会【第11回】議事録

日時：2021年9月28日（火）15：00～16：00

場所：学校 会議室

進行表

1. 参加者
- | | |
|-----|--|
| 委員長 | 中谷守一（南大阪病院） |
| 委員 | 渡邊美津江（南大阪病院） 原田聡（社会医療法人景岳会）
山内恵美（社会福祉法人白寿会） 夜久直也（卒業生）
井上義雄（地域代表） |
| 学校側 | 小味淵学校長 岸本副学校長 高岡教務主任 鶴羽事務員 |

2. 学校からの報告

1) 年間目標への取り組み状況

①国家試験対策結果及び進路状況（資料1）

学校＞岸本より、資料を基に報告を行った。

昨年度卒業生の国家試験合否結果と関連データ一覧を用いた分析と同卒業生の就業状況を報告。

中谷) 学生が合格に向けてモチベーションがあがる授業が展開できているか。

岸本) 模試等の結果を基に各自の弱点を洗い出し、頑張る点を具体的に示すことにより勉強のモチベーションをあげている。また、全授業終了後アンケート回収を行っており、次年度に向け更に学生の意向が反映されるよう創意工夫を行っている。

中谷) 学生の勉強時間の確保について、促進と状況把握はできているか。

岸本) 家庭環境に左右される為、一概にこれといった時間数を貸すことはできないが、なるべくアルバイトをしない（もしくは時間を減らす）・毎日一定時間を勉強時間として割く等の指導を行っている。また、定期的に学生個人と担任または副担任とで個人面談をおこなっており、学習状況や家庭状況を中心に把握とケアを行っている。

中谷) 入試結果・在学中の成績等で傾向は出せないか。

岸本) 積極的に検討する

②質の高い受験生確保の取り組み（資料2）

学校＞鶴羽より、資料を基に報告を行った。

今夏実施の来校型オープンキャンパスのアンケート集計結果の一覧と分析。
オンライン座談会の実施結果と分析。SNSでの広報活動内容と実施結果と分析。
以上を報告。

渡邊・夜久) 今行っている取り組み（オンライン座談会・SNSの活用）を是非とも継続して行っていただきたい。数年後が楽しみ。

井上・山内) 時代に沿った良い取り組みだと思う。ターゲット層も絞れており、効率的だと感じた。学校に愛着を持ってもらえるように頑張ってもらいたい。

原田) オープンキャンパスの欠席者へのアプローチ(資料請求・DM等)があれば良いのではないか。

鶴羽) 今後はまずは欠席者を出さないよう、開催日前近にメール等で来場を促す。その上で欠席者にはご提案いただいた方法でのアプローチをしたい。

2) 自己点検・自己アンケート結果について(資料3)

学校>岸本より、資料を基に報告を行った。

中谷) 細かくデータをまとめておられるが、実施企画~回答~まとめまで時間を要したのでは。

岸本) はい、多くの時間を要した。

中谷) 今後、他のことにも通ずるが、手入力でなくデジタル入力を積極的に活用すべきだ。授業終了後にアンケートと取っているとのことだが、これらについてもデジタル入力で統一化することにより、回答率の上昇も見込めるのでは。

岸本) 積極的に検討する。

3. 次回開催について

2022年3月8日(火) 15:00~

学校関係者評価委員会【第12回】議事録

日時：2022年3月8日（火）15：00～16：00

場所：学校 会議室

進行表

1. 参加者
- | | |
|-----|--|
| 委員長 | 中谷守一（南大阪病院） |
| 委員 | 渡邊美津江（南大阪病院） 原田聡（社会医療法人景岳会）
山内恵美（社会福祉法人白寿会） 夜久直也（卒業生）
井上義雄（地域代表） |
| 学校側 | 小味潤学校長 岸本副学校長 高岡教務主任 鶴羽事務員 |

2. 学校からの報告

年間目標への取り組み状況

①質の良い受験生の確保

入学受験者推移について（資料1-1）

学校＞鶴羽より、資料を基に報告を行った。

2022年度入学生募集入学試験の受験者・入学者をメインに直近5年間のデータから見る分析と今後の課題を報告。

中谷＞直近5年間での受験者数は全体的に見て減少傾向にある。（前年度からは維持）色々と広報活動を頑張ってもらっているのは重々承知だが、減少傾向の一番の要因は何だと考えるか。

鶴羽＞毎年複数の高校・進路指導部の先生を訪ねて話を伺っているが、そこでよく聞くのがそもそもの18歳人口の減少からなる看護師志望学生数の減少。また、コロナ禍の影響は大きく、看護師・医療業界という職業の多忙さをメディアが伝えることにより現実を知り断念する学生もしくは保護者が増えているとのことである。

原田＞受験者数のピークである3年前の数字を目指して、広報活動を頑張ってもらいたい。質の良い受験生の増加もそうだが、経営の観点から見ても収入増となるため、是非とも頑張ってもらいたい。

鶴羽＞重々承知している。3年前の数字に戻すことは現実的には非常に厳しいが、せめて昨年度・今年度より着実に増加していけるよう、効果的な広報活動を継続して行っていきたいと考えている。

入学生募集・広報活動について（資料1-2）

学校＞鶴羽より、資料を基に報告を行った。

2021年度におこなった入学生募集・広報活動である「進学情報サイト」「オンライン座談会」「PR動画作成」「SNS運用」の今年度の振り返りと来年度の予定・目標を報告。

夜久>オープンキャンパス・オンライン座談会参加者の受験率を知りたい。また、それらに参加した上で受験をしなかった人の理由や傾向があれば知りたい。

鶴羽>参加者の受験率は集計している。次回会議より提出する。

受験しなかった理由や傾向は集計していない。今後の対策として有用であると考えするため、積極的に集計していきたい。

中谷>入学生募集・広報活動の中でも認知度アップをメインとして取り組む姿勢は評価できる。今後も継続しておこなっていただきたい。

ただし、これらの活動は費用がかかるうえ、不特定多数への広報活動になるため、確実性は低い。そこで学校OB・OGの方に対して広報をし、身内や勤務先へアピールしてもらうようお願いしてもらうのはどうでしょうか。例えば同窓会を立ち上げ、そこで情報を共有するというのも一つの手だと思いがいかでしょうか。

高岡>同窓会立ち上げの話は、本校の課題として数年前から上がっているものであり、広報活動含め様々な用途で非常に有効的ではあるが、立ち上げの企画・労力共にそちらに時間を割くことが難しく未だに実現には至っていない。

小味渕>2023年度に本校看護学科が開設50周年を迎える。現在、記念誌制作等の記念事業を計画しており、それを機にOB・OGの皆さんとの交流や同窓会の立ち上げ等も検討できればと考えている。

②国家試験対策の充実と強化

学校>岸本より報告を行った。

前月13日(日)におこなわれた第111回看護師国家試験に本校3年生40名が受験し無事終了したこと、試験後の自己採点により若干名の不合格の可能性があることの報告を行った。今月25日(金)が結果発表となっている。結果と詳細は次回会議にて提出する。

③3年間で卒業できる体制づくり強化

今年度卒業生の進路予定について(資料2)

学校>岸本より、資料を基に報告を行った。

3年生の進路予定・就職内定先を報告。また47期生の最終状況を報告。入学40名から最後は36名が卒業確定、3名が退学(1年次1名、2年次2名)、1名が再履修となった。

渡邊・原田>今回の卒業生は母体病院である南大阪病院の就職者数が例年と比べ少ない。毎年安定して卒業生の半数以上が就職していたが、来年度以降の就職についてどのような対策をとるのか。

岸本>今年度の卒業生は、景岳会奨学金(本校学生の希望者が社会医療法人景岳会より貸与を受けることができる奨学金制度)の貸与者が例年より少ないことが大きな理由と考える。毎年各学年に半数前後の貸与者がいることが続いており、そのほとんどが南大阪病院へ就職した状況を考えると、減少は必然であった。次年度以降は今年度卒業生よりは貸与者は多いが、2年前から採用してい

る高等学校の修学支援新制度（文科省と日本学生支援機構による入学金・授業料の減免・免除ならびに給付奨学金の受給が可能な制度）の影響により、景岳会奨学金貸与者の大幅増は見込めない。

また、実習先病院に就職を希望した学生からは、実習時の病棟の雰囲気や看護師の人柄の良さ等を理由に希望している学生が多く、南大阪病院も実習時の学生との接触で就職希望者は増える見込みだと考える。

渡邊＞学内での就職についての面談等で南大阪病院への就職を勧めてくれている？

高岡＞就職先に迷っている学生には南大阪病院もひとつの選択肢だと伝えている。

今年度のように南大阪病院就職希望者が少ない年には、学生へ勧める方法をうまく考えて行うように検討する。

3. その他

岸本＞今年度で学校関係者評価委員の任期（2年）が終了する。現在、本校授業の講師を兼任していただいている方もいらっしゃる状況であり、次年度より本委員は講師の兼任が認められないことになっているため、授業の調整を行ったうえで委員の皆さま方には連絡する。

4. 次回開催について

2022年9月 日時の詳細は別途連絡する